

事業環境に係る経営課題に関するアンケート調査結果

新井商工会議所・中小企業相談所

【調査概要】

当所では、会員事業所を対象（回答事業者数：167件/583件 回答率:28.7%）に、事業環境に係る経営課題に関する調査として、コスト上昇の影響と価格転嫁・賃上げと最低賃金を起因する事業活動への影響や、今後の支援ニーズなどを把握する為、令和7年12月22日～令和8年1月16日の間、景況調査と併せて調査を行いました。

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない場合があります。

1. コスト上昇の影響と価格転嫁について ※1年前との比較

「エネルギー・原材料価格の上昇」による事業活動への影響について、「悪影響がある」または「少し悪影響がある」と回答した事業所は合わせて83.1%に達し、深刻なマイナスの影響が出ていることが浮き彫りとなりました。

具体的な悪影響としては「仕入価格の上昇」が33.9%と最も高く、次いで「燃料費の上昇」や「光熱費の上昇」が上位に挙げられています。

対応策としては「販売価格への転嫁」が33.9%で最多となりました。しかし、現在の価格転嫁率（物価および人件費）はいずれも「0%～39%」との回答が最も多く、物価で41.8%、人件費で39.7%に留まっています。

今後の価格転嫁については、「物価や他社の動向を見ながら一部値上げする（予定）」との回答が41.1%となり、多くの中小企業がコスト上昇に直面しながらも、価格転嫁の難しさに苦慮している現状が伺えます。

(1) エネルギー・原材料価格の上昇が経営に及ぼす影響について

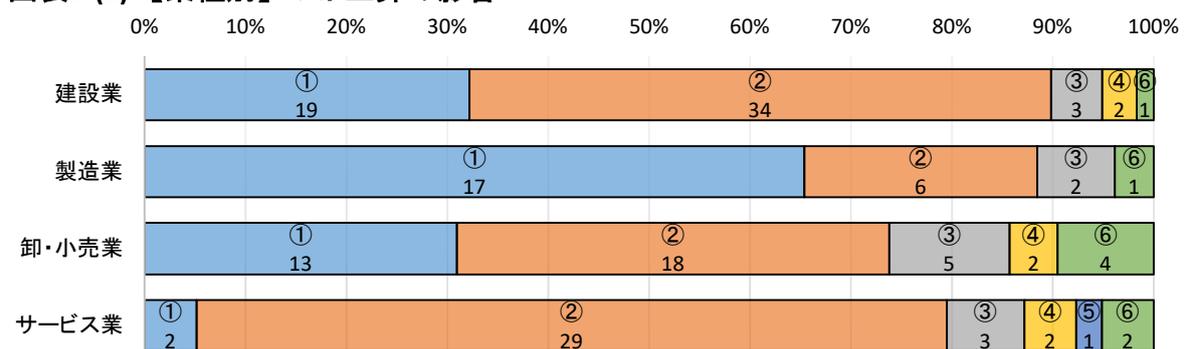
【選択肢】

- ①悪影響がある ④少し好影響がある ⑦その他
 ②少し悪影響がある ⑤好影響がある
 ③影響はない ⑥分からない

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	59	100.0%	26	100.0%	42	100.0%	39	100.0%	166	100.0%
①	19	32.2%	17	65.4%	13	31.0%	2	5.1%	51	30.7%
②	34	57.6%	6	23.1%	18	42.9%	29	74.4%	87	52.4%
③	3	5.1%	2	7.7%	5	11.9%	3	7.7%	13	7.8%
④	2	3.4%	0	0.0%	2	4.8%	2	5.1%	6	3.6%
⑤	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	0.6%
⑥	1	1.7%	1	3.8%	4	9.5%	2	5.1%	8	4.8%
⑦	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

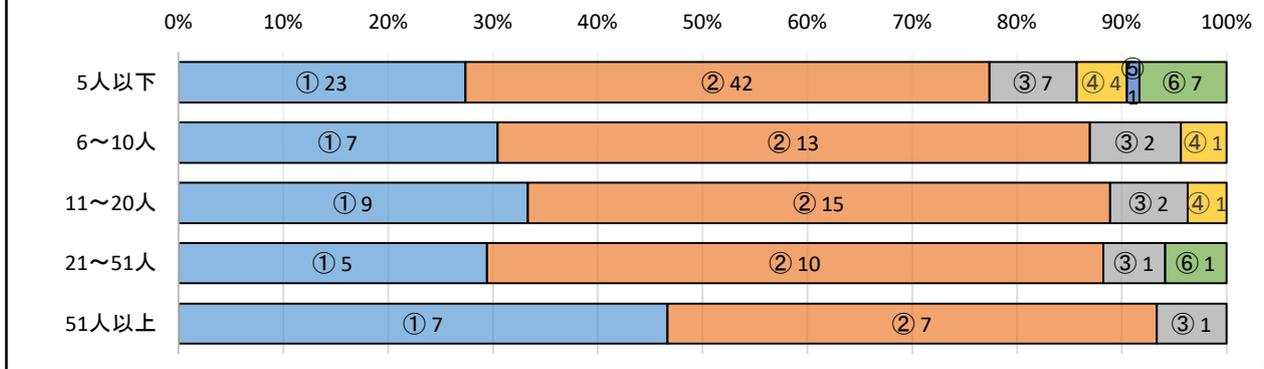
83.1%

図表1-(1) 【業種別】コスト上昇の影響



規模	5人以下		6～10人		11～20人		21～51人		51人以上		合計	
全体数	84	100.0%	23	100.0%	27	100.0%	17	100.0%	15	100.0%	166	100.0%
①	23	27.4%	7	30.4%	9	33.3%	5	29.4%	7	46.7%	51	30.7%
②	42	50.0%	13	56.5%	15	55.6%	10	58.8%	7	46.7%	87	52.4%
③	7	8.3%	2	8.7%	2	7.4%	1	5.9%	1	6.7%	13	7.8%
④	4	4.8%	1	4.3%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	6	3.6%
⑤	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%
⑥	7	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.9%	0	0.0%	8	4.8%
⑦	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

図表1-(1) 【規模別】コスト上昇の影響

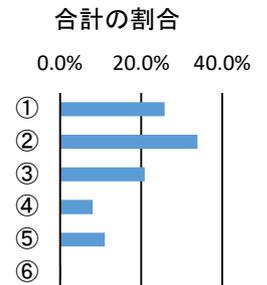


a.悪影響の内容【複数回答】※(1)で「①・②」と回答した方

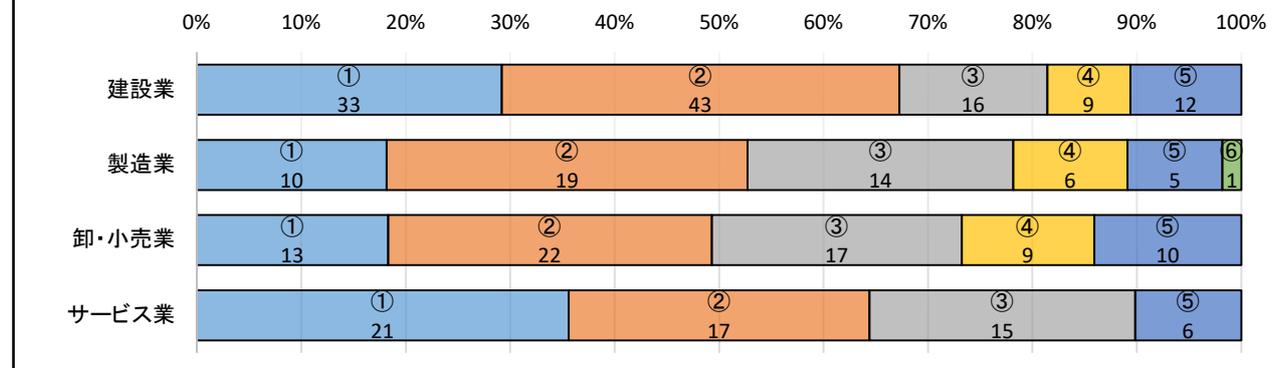
【選択肢】

- ①燃料費の上昇
- ③光熱費の上昇
- ⑤売上の減少
- ②仕入価格の上昇
- ④輸送費の上昇
- ⑥その他

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	113	100.0%	55	100.0%	71	100.0%	59	100.0%	298	100.0%
①	33	29.2%	10	18.2%	13	18.3%	21	35.6%	77	25.8%
②	43	38.1%	19	34.5%	22	31.0%	17	28.8%	101	33.9%
③	16	14.2%	14	25.5%	17	23.9%	15	25.4%	62	20.8%
④	9	8.0%	6	10.9%	9	12.7%	0	0.0%	24	8.1%
⑤	12	10.6%	5	9.1%	10	14.1%	6	10.2%	33	11.1%
⑥	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%



図表1-(1)-a 【業種別】悪影響の内容



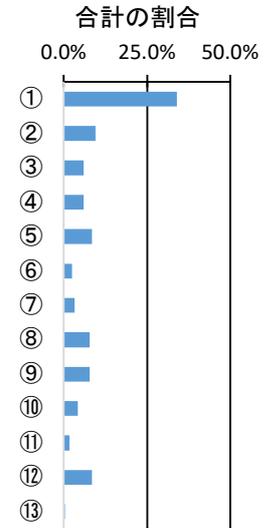
規模	5人以下		6～10人		11～20人		21～51人		51人以上		合計	
全体数	134	100.0%	42	100.0%	58	100.0%	31	100.0%	33	100.0%	298	100.0%
①	32	23.9%	12	28.6%	16	27.6%	9	29.0%	8	24.2%	69	23.2%
②	44	32.8%	15	35.7%	19	32.8%	12	38.7%	11	33.3%	90	30.2%
③	25	18.7%	9	21.4%	13	22.4%	5	16.1%	10	30.3%	52	17.4%
④	10	7.5%	3	7.1%	4	6.9%	4	12.9%	3	9.1%	21	7.0%
⑤	22	16.4%	3	7.1%	6	10.3%	1	3.2%	1	3.0%	32	10.7%
⑥	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%

(2)コスト上昇への対応について【複数回答】

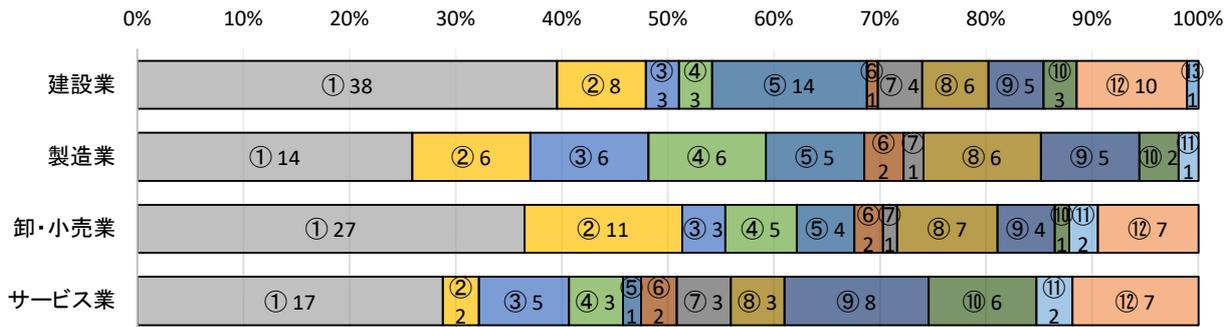
【選択肢】

- ①販売価格への転嫁
- ②間接経費の節約
- ③デジタル化や設備投資による生産性向上
- ④仕入先の見直し
- ⑤仕入先との値下げ交渉
- ⑥販売先の見直し
- ⑦代替品の検討
- ⑧仕様や電材料の変更・見直し
- ⑨商品・サービスの付加価値向上
- ⑩省エネルギー化の促進
- ⑪事業の縮小
- ⑫特になし
- ⑬その他

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	96	100.0%	54	100.0%	74	100.0%	59	100.0%	283	100.0%
①	33	39.6%	14	25.9%	27	36.5%	17	28.8%	96	33.9%
②	8	8.3%	6	11.1%	11	14.9%	2	3.4%	27	9.5%
③	3	3.1%	6	11.1%	3	4.1%	5	8.5%	17	6.0%
④	3	3.1%	6	11.1%	5	6.8%	3	5.1%	17	6.0%
⑤	14	14.6%	5	9.3%	4	5.4%	1	1.7%	24	8.5%
⑥	1	1.0%	2	3.7%	2	2.7%	2	3.4%	7	2.5%
⑦	4	4.2%	1	1.9%	1	1.4%	3	5.1%	9	3.2%
⑧	6	6.3%	6	11.1%	7	9.5%	3	5.1%	22	7.8%
⑨	5	5.2%	5	9.3%	4	5.4%	8	13.6%	22	7.8%
⑩	3	3.1%	2	3.7%	1	1.4%	6	10.2%	12	4.2%
⑪	0	0.0%	1	1.9%	2	2.7%	2	3.4%	5	1.8%
⑫	10	10.4%	0	0.0%	7	9.5%	7	11.9%	24	8.5%
⑬	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%



図表1-(2)【業種別】対応策



⑬その他 ・NTTから年間予算や労務単価が決められている

(3)物価上昇・人件費上昇の販売価格への転嫁割合について

【選択肢】

- ①100%~80%
- ②40%~79%
- ③0%~39%
- ④影響・必要がない

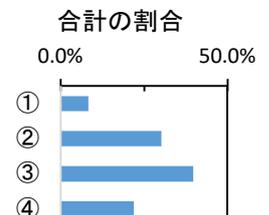
①:物価(エネルギー・原材料)上昇分の転嫁割合

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	50	100.0%	23	100.0%	38	100.0%	35	100.0%	146	100.0%
①	8	16.0%	3	13.0%	8	21.1%	4	11.4%	23	15.8%
②	15	30.0%	6	26.1%	11	28.9%	11	31.4%	43	29.5%
③	23	46.0%	13	56.5%	10	26.3%	15	42.9%	61	41.8%
④	4	8.0%	1	4.3%	9	23.7%	5	14.3%	19	13.0%



②:人件費上昇分の転嫁割合

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	50	100.0%	23	100.0%	38	100.0%	35	100.0%	146	100.0%
①	5	10.0%	1	4.3%	3	7.9%	3	8.6%	12	8.2%
②	19	38.0%	6	26.1%	10	26.3%	9	25.7%	44	30.1%
③	20	40.0%	14	60.9%	13	34.2%	11	31.4%	58	39.7%
④	6	12.0%	2	8.7%	12	31.6%	12	34.3%	32	21.9%



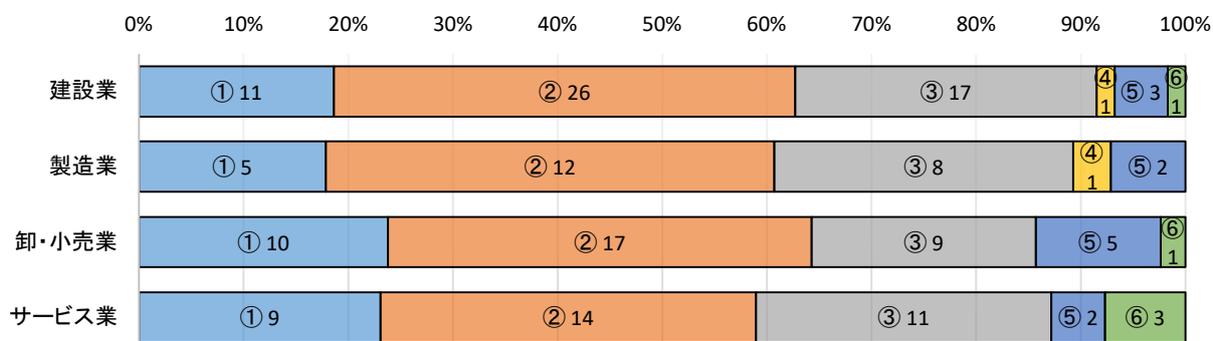
(4)今後の価格転嫁について【複数回答】

【選択肢】

- ①適正な水準に達するまで、値上げを行う(予定)
- ②物価や他社の動向をみながら一部値上げする(予定)
- ③値上げする必要があるが、引き上げは難しい
- ④販売先の見直し
- ⑤値上げの必要はない
- ⑥その他

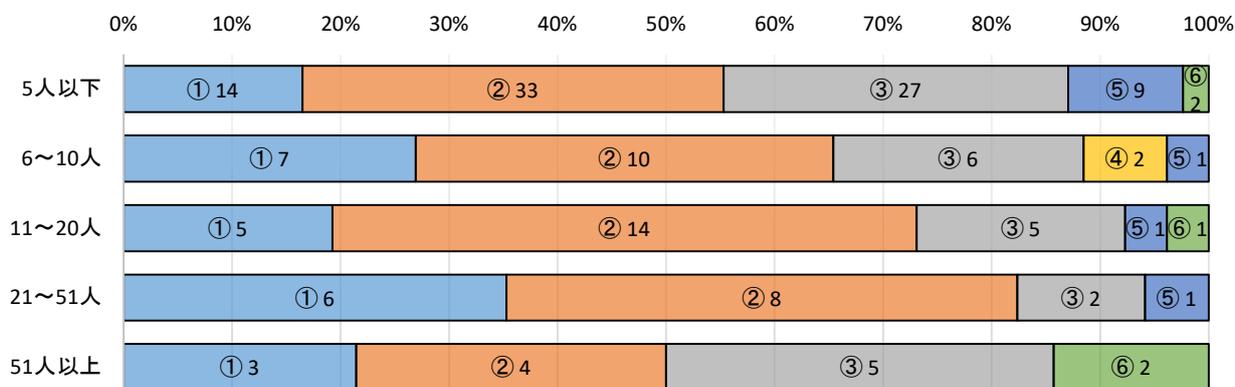
業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計		合計の割合
全体数	59	100.0%	28	100.0%	42	100.0%	39	100.0%	168	100.0%	
①	11	18.6%	5	9.1%	10	23.8%	9	23.1%	35	20.8%	
②	26	44.1%	12	21.8%	17	40.5%	14	35.9%	69	41.1%	
③	17	28.8%	8	14.5%	9	21.4%	11	28.2%	45	26.8%	
④	1	1.7%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%	
⑤	3	5.1%	2	3.6%	5	11.9%	2	5.1%	12	7.1%	
⑥	1	1.7%	0	0.0%	1	2.4%	3	7.7%	5	3.0%	

図表1-(4)【業種別】今後の価格転嫁



規模	5人以下		6~10人		11~20人		21~51人		51人以上		合計	
全体数	85	100.0%	26	100.0%	26	100.0%	17	100.0%	14	100.0%	168	100.0%
①	14	16.5%	7	26.9%	5	19.2%	6	35.3%	3	21.4%	35	20.8%
②	33	38.8%	10	38.5%	14	53.8%	8	47.1%	4	28.6%	69	41.1%
③	27	31.8%	6	23.1%	5	19.2%	2	11.8%	5	35.7%	45	26.8%
④	0	0.0%	2	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%
⑤	9	10.6%	1	3.8%	1	3.8%	1	5.9%	0	0.0%	12	7.1%
⑥	2	2.4%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	2	14.3%	5	3.0%

図表1-(5)【規模別】今後の価格転嫁



- ⑥その他
 - ・転嫁出来ない
 - ・仕入先次第
 - ・介護報酬で決まる部分がほとんどなので無理
 - ・2025年12月に値上げを行った

2. 賃上げと最低賃金について

68.6%の事業所が賃上げを実施したと回答されました。全体として規模が大きくなるほど「5%以上」や「3%以上5%未満」といった高い賃上げ率の実施割合が増加しています。

賃上げの内容として「ベースアップ」が34.6%と最も多く、「定期昇給」「賞与増額」とそれに続きました。理由として、「社員の待遇改善」(30.0%)が最多で、「人材確保」が続きました。

また、最低賃金への対応として「最低賃金を上回っていたが引き上げを行った」(37.2%)が最も多くなりました。

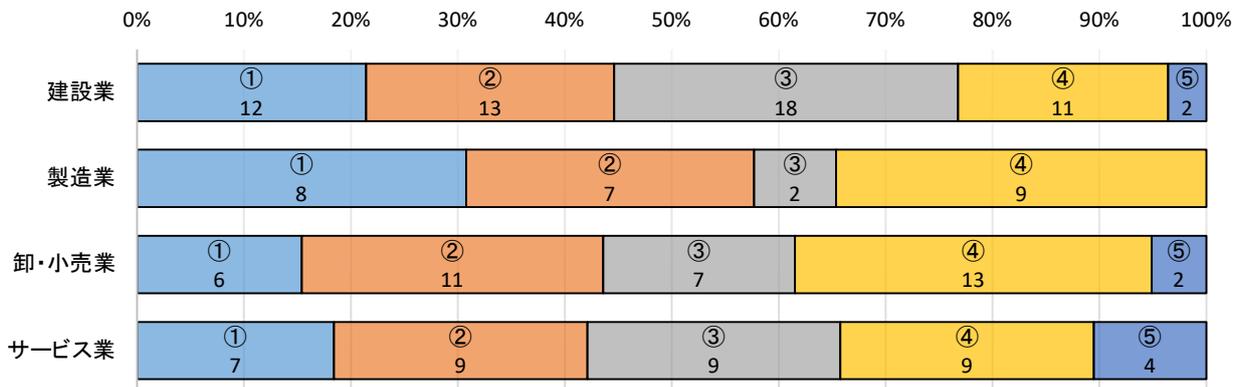
一方で、将来的な最低賃金が1,500円への対応可否については、「どちらとも言えない」(39.7%)、「引き上げは難しい」(33.3%)となり、持続的な賃上げを実現するには、「売上、受注の拡大」や「コストに見合った適正化価格での販売」といった経営努力が必要であると認識されています。

(1)今年度(2025年度)の賃上げ実績状況について

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
	全体数		全体数		全体数		全体数		全体数	
① 5%以上	12	21.4%	8	30.8%	6	15.4%	7	18.4%	33	20.8%
② 3%以上5%未満	13	23.2%	7	26.9%	11	28.2%	9	23.7%	40	25.2%
③ 3%未満	18	32.1%	2	7.7%	7	17.9%	9	23.7%	36	22.6%
④ 賃上げなし	11	19.6%	9	34.6%	13	33.3%	9	23.7%	42	26.4%
⑤ その他	2	3.6%	0	0.0%	2	5.1%	4	10.5%	8	5.0%

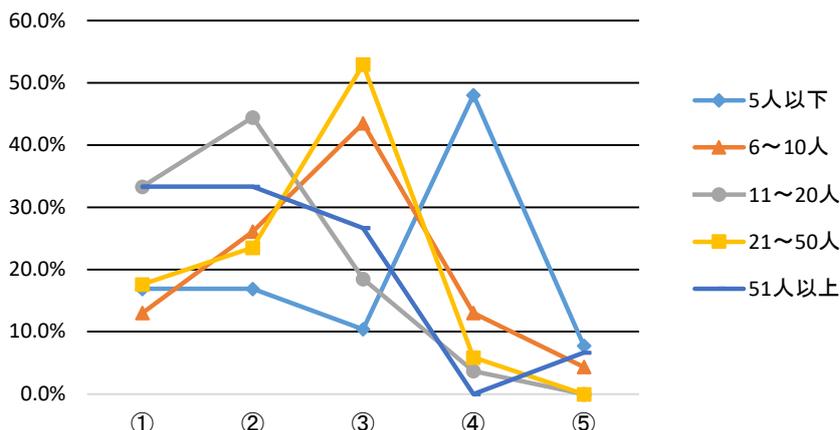
68.6%

図表2-(1) 【業種別】賃上げ実績状況



規模	5人以下		6~10人		11~20人		21~50人		51人以上		合計	
全体数	77	100.0%	23	100.0%	27	100.0%	17	100.0%	15	100.0%	159	100.0%
①	13	16.9%	3	13.0%	9	33.3%	3	17.6%	5	33.3%	33	20.8%
②	13	16.9%	6	26.1%	12	44.4%	4	23.5%	5	33.3%	40	25.2%
③	8	10.4%	10	43.5%	5	18.5%	9	52.9%	4	26.7%	36	22.6%
④	37	48.1%	3	13.0%	1	3.7%	1	5.9%	0	0.0%	42	26.4%
⑤	6	7.8%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	8	5.0%

図表2-(1) 【規模別】賃上げ実績状況



⑤その他

- ・役員のみ、従業員ナシ
- ・個人事業主のため金額は決まっていない
- ・まだ1年経っていない

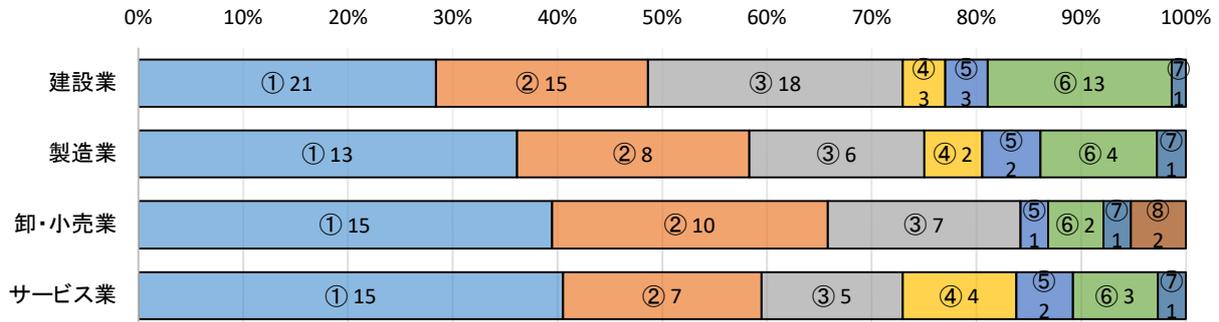
a.実施の賃上げ内容について【複数回答】※(1)で「①・②・③」と回答した方

【選択肢】

- ①ベースアップ ③賞与増額 ⑤手当の新設・増額 ⑦労働時間の短縮
 ②定期昇給 ④一時金の支給 ⑥休日数の増加 ⑧その他

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	74	100.0%	36	100.0%	38	100.0%	37	100.0%	185	100.0%
①	21	28.4%	13	36.1%	15	39.5%	15	40.5%	64	34.6%
②	15	20.3%	8	22.2%	10	26.3%	7	18.9%	40	21.6%
③	18	24.3%	6	16.7%	7	18.4%	5	13.5%	36	19.5%
④	3	4.1%	2	5.6%	0	0.0%	4	10.8%	9	4.9%
⑤	3	4.1%	2	5.6%	1	2.6%	2	5.4%	8	4.3%
⑥	13	17.6%	4	11.1%	2	5.3%	3	8.1%	22	11.9%
⑦	1	1.4%	1	2.8%	1	2.6%	1	2.7%	4	2.2%
⑧	0	0.0%	0	0.0%	2	5.3%	0	0.0%	2	1.1%

図表2-(1)-a 【業種別】賃上げ内容



⑧その他 ・最低賃金引き上げによる時給アップ

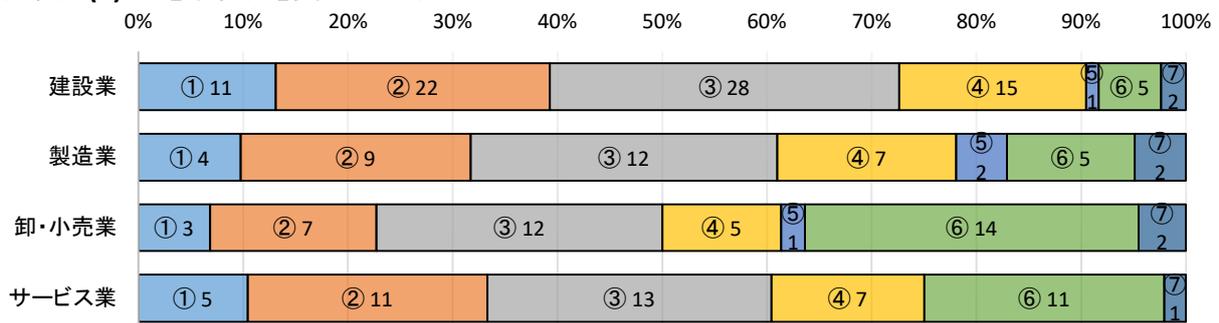
b.賃上げを行う理由について【複数回答】※(1)で「①・②・③」と回答した方

【選択肢】

- ①業績の改善・向上 ③社員の待遇改善 ⑤同業他社が行うので ⑦政府からの賃上げ要請に呼応
 ②人材確保 ④物価上昇への対応 ⑥最低賃金引上げに対応 ⑧その他

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	84	100.0%	41	100.0%	44	100.0%	48	100.0%	217	100.0%
①	11	13.1%	4	9.8%	3	6.8%	5	10.4%	23	10.6%
②	22	26.2%	9	22.0%	7	15.9%	11	22.9%	49	22.6%
③	28	33.3%	12	29.3%	12	27.3%	13	27.1%	65	30.0%
④	15	17.9%	7	17.1%	5	11.4%	7	14.6%	34	15.7%
⑤	1	1.2%	2	4.9%	1	2.3%	0	0.0%	4	1.8%
⑥	5	6.0%	5	12.2%	14	31.8%	11	22.9%	35	16.1%
⑦	2	2.4%	2	4.9%	2	4.5%	1	2.1%	7	3.2%
⑧	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

図表2-(1)-b 【業種別】賃上げ理由

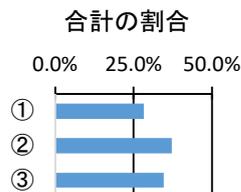


(2)最低賃金の引上げに対応について

【選択肢】

①最低賃金を下回ったため、賃金を引き上げた
・最低賃金を上回っていた… ②引き上げた or ③引き上げなかった

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	55	100.0%	25	100.0%	39	100.0%	37	100.0%	156	100.0%
①	6	10.9%	6	24.0%	17	43.6%	15	40.5%	44	28.2%
②	28	50.9%	11	44.0%	9	23.1%	10	27.0%	58	37.2%
③	21	38.2%	8	32.0%	13	33.3%	12	32.4%	54	34.6%



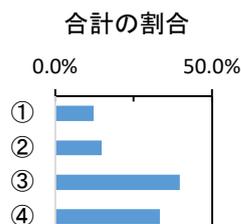
規模	5人以下		6~10人		11~20人		21~51人		51人以上		合計	
全体数	75	100.0%	23	100.0%	26	100.0%	17	100.0%	15	100.0%	156	100.0%
①	15	20.0%	6	26.1%	7	26.9%	7	41.2%	9	60.0%	44	28.2%
②	20	26.7%	14	60.9%	13	50.0%	5	29.4%	6	40.0%	58	37.2%
③	40	53.3%	3	13.0%	6	23.1%	5	29.4%	0	0.0%	54	34.6%

(3)最低賃金1,500円への対応の可否について

【選択肢】

①既に1,500円以上である ②引き上げは可能 ③どちらとも言えない ④引き上げは難しい

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	56	100.0%	24	100.0%	39	100.0%	37	100.0%	156	100.0%
①	12	21.4%	3	12.5%	1	2.6%	3	8.1%	19	12.2%
②	11	19.6%	5	20.8%	3	7.7%	4	10.8%	23	14.7%
③	25	44.6%	8	33.3%	13	33.3%	16	43.2%	62	39.7%
④	8	14.3%	8	33.3%	22	56.4%	14	37.8%	52	33.3%



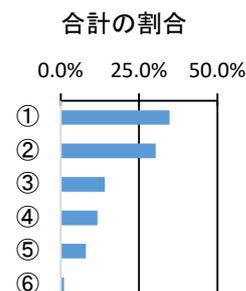
規模	5人以下		6~10人		11~20人		21~51人		51人以上		合計	
全体数	75	100.0%	22	100.0%	27	100.0%	17	100.0%	15	100.0%	156	100.0%
①	14	18.7%	1	4.5%	2	7.4%	1	5.9%	1	6.7%	19	12.2%
②	8	10.7%	6	27.3%	3	11.1%	4	23.5%	2	13.3%	23	14.7%
③	31	41.3%	9	40.9%	8	29.6%	7	41.2%	7	46.7%	62	39.7%
④	22	29.3%	6	27.3%	14	51.9%	5	29.4%	5	33.3%	52	33.3%

(4)持続的な賃上げに必要なことについて【複数回答】

【選択】

①売上、受注の拡大 ④税制優遇の拡大
②コストに見合った適正化価格での販売 ⑤資源エネルギー価格の安定
③生産性の向上 ⑥その他

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	103	100.0%	61	100.0%	79	100.0%	54	100.0%	297	100.0%
①	34	33.0%	17	27.9%	28	35.4%	24	44.4%	103	34.7%
②	34	33.0%	16	26.2%	25	31.6%	15	27.8%	90	30.3%
③	12	11.7%	10	16.4%	11	13.9%	9	16.7%	42	14.1%
④	13	12.6%	11	18.0%	9	11.4%	2	3.7%	35	11.8%
⑤	9	8.7%	7	11.5%	6	7.6%	2	3.7%	24	8.1%
⑥	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.7%	3	1.0%



⑥その他 ・法改正を ・技術職なので技術の向上 ・業務内容への社会的認知

3. 中長期的な課題について

向こう1年の経営課題として「人材の維持、獲得」を挙げる事業所が多く、「生産性の向上（デジタル化含む）」
「原材料、燃料費、物流費等の上昇」が続きました。

また、向こう10年の経営課題としては上記の他に「設備の老朽化、更新」「人材の育成（ノウハウの承継含む）」が
上位に挙げられ、目先のコスト増への対応と並行して、将来の競争力を左右するハード（設備）とソフト（技
術・人）の両面における基盤再構築が、喫緊の課題となっています。

(1)向こう1年・10年の経営課題について【複数回答】

【選択肢】

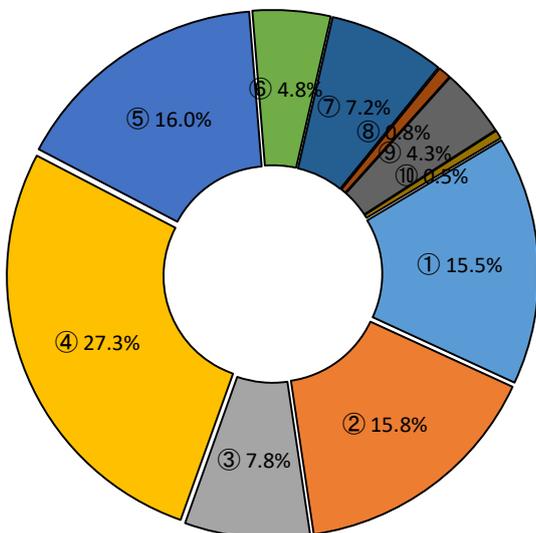
- ①生産性の向上(デジタル化含む)
- ②原材料、燃料費、物流費等の上昇
- ③設備の老朽化、更新
- ④人材の維持、獲得
- ⑤人材の育成(ノウハウの承継含む)
- ⑥商品・サービスの差別化
- ⑦財務・資金繰りの改善
- ⑧法規制・税務会計制度の変更
- ⑨商品・サービスの開発
- ⑩その他

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	計
建設業	①: 向こう1年	25	23	7	45	23	4	8	1	0	1	137
		18.2%	16.8%	5.1%	32.8%	16.8%	2.9%	5.8%	0.7%	0.0%	0.7%	100%
建設業	②: 向こう10年	20	15	20	42	31	8	8	4	0	1	149
		13.4%	10.1%	13.4%	28.2%	20.8%	5.4%	5.4%	2.7%	0.0%	0.7%	100%
製造業	①: 向こう1年	11	15	10	11	7	2	7	1	4	0	68
		16.2%	22.1%	14.7%	16.2%	10.3%	2.9%	10.3%	1.5%	5.9%	0.0%	100%
製造業	②: 向こう10年	11	12	18	10	7	6	6	2	8	0	80
		13.8%	15.0%	22.5%	12.5%	8.8%	7.5%	7.5%	2.5%	10.0%	0.0%	100%
卸・小売業	①: 向こう1年	8	12	5	19	15	8	8	0	9	0	84
		9.5%	14.3%	6.0%	22.6%	17.9%	9.5%	9.5%	0.0%	10.7%	0.0%	100%
卸・小売業	②: 向こう10年	14	12	17	21	15	8	8	2	9	0	106
		13.2%	11.3%	16.0%	19.8%	14.2%	7.5%	7.5%	1.9%	8.5%	0.0%	100%
サービス業	①: 向こう1年	14	9	7	27	15	4	4	1	3	1	85
		16.5%	10.6%	8.2%	31.8%	17.6%	4.7%	4.7%	1.2%	3.5%	1.2%	100%
サービス業	②: 向こう10年	13	8	14	17	18	8	7	1	6	2	94
		13.8%	8.5%	14.9%	18.1%	19.1%	8.5%	7.4%	1.1%	6.4%	2.1%	100%

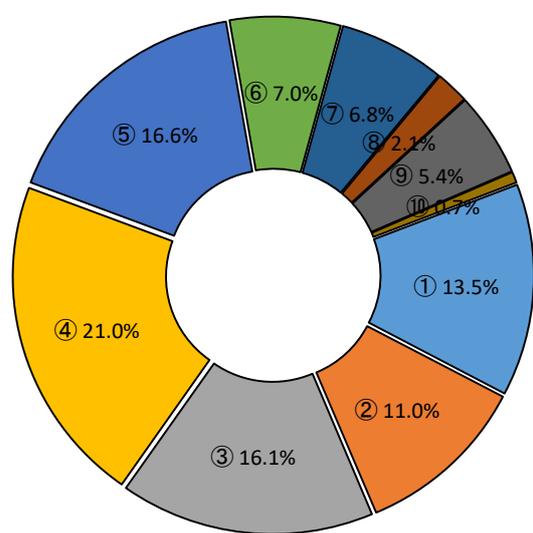
①: 向こう1年 ⑩: その他 ・廃業する

②: 向こう10年 ⑩: その他 ・廃業する

図表3-(1)-① 向こう1年の経営課題(全体)



図表3-(1)-② 向こう10年の経営課題(全体)



4. 会議所に求める(又は力を入れて欲しい)事業活動について

会議所に求める事業活動として、「補助金・助成金の活用支援」が圧倒的に多くなりました。

次いで、「人材確保・育成支援」「資金繰り・資金調達支援」「販売促進・販路開拓支援」などが上位となりました。

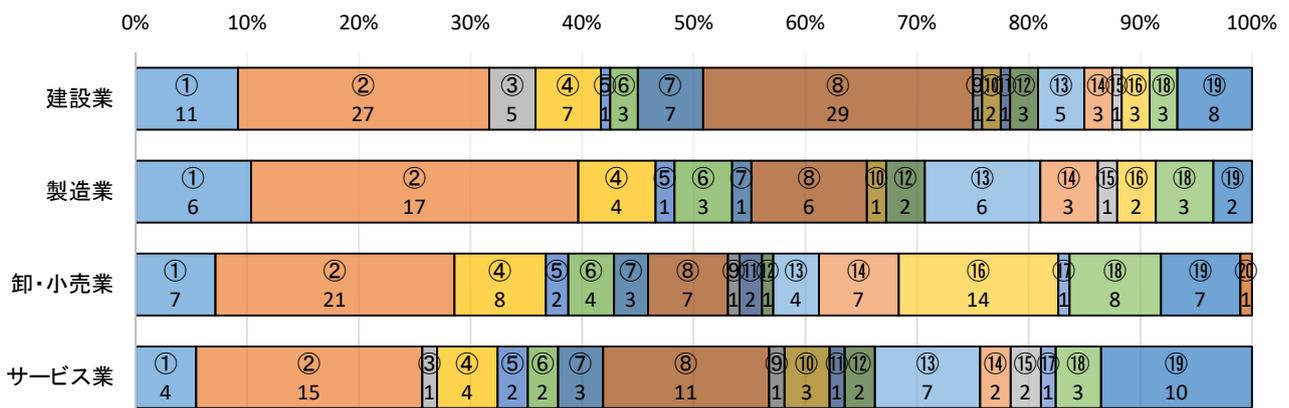
【選択肢】

- | | |
|---------------|------------------|
| ①資金繰り・資金調達支援 | ⑪専門家派遣による経営指導 |
| ②補助金・助成金の活用方法 | ⑫専門相談(税務、法務、労働等) |
| ③経営計画の策定支援 | ⑬IT化支援 |
| ④販売促進・販路開拓支援 | ⑭消費税対策 |
| ⑤国際交流・海外展開支援 | ⑮創業支援 |
| ⑥新事業展開支援 | ⑯市街地活性化と賑わいの創出 |
| ⑦事業承継・後継者対策支援 | ⑰意見活動 |
| ⑧人材確保・育成支援 | ⑱地域イベント・地域振興の支援 |
| ⑨財務分析等の経営改善支援 | ⑲特に求める事項はない |
| ⑩資質向上支援(講演会等) | ⑳その他 |

業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	120	100.0%	58	100.0%	97	100.0%	74	100.0%	349	100.0%
①	11	9.2%	6	10.3%	7	7.2%	4	5.4%	28	8.0%
②	27	22.5%	17	29.3%	21	21.6%	15	20.3%	80	22.9%
③	5	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	6	1.7%
④	7	5.8%	4	6.9%	8	8.2%	4	5.4%	23	6.6%
⑤	1	0.8%	1	1.7%	2	2.1%	2	2.7%	6	1.7%
⑥	3	2.5%	3	5.2%	4	4.1%	2	2.7%	12	3.4%
⑦	7	5.8%	1	1.7%	3	3.1%	3	4.1%	14	4.0%
⑧	29	24.2%	6	10.3%	7	7.2%	11	14.9%	53	15.2%
⑨	1	0.8%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.4%	3	0.9%
⑩	2	1.7%	1	1.7%	0	0.0%	3	4.1%	6	1.7%
⑪	1	0.8%	0	0.0%	2	2.1%	1	1.4%	4	1.1%
⑫	3	2.5%	2	3.4%	1	1.0%	2	2.7%	8	2.3%
⑬	5	4.2%	6	10.3%	4	4.1%	7	9.5%	22	6.3%
⑭	3	2.5%	3	5.2%	7	7.2%	2	2.7%	15	4.3%
⑮	1	0.8%	1	1.7%	0	0.0%	2	2.7%	4	1.1%
⑯	3	2.5%	2	3.4%	14	14.4%	0	0.0%	19	5.4%
⑰	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.4%	2	0.6%
⑱	3	2.5%	3	5.2%	8	8.2%	3	4.1%	17	4.9%
⑲	8	6.7%	2	3.4%	7	7.2%	10	13.5%	27	7.7%
⑳	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	1	0.3%

⑲その他の意見 ・プレミアム商品券実施

図表4 【業種別】会議所へ求める力



5. 経済回復に向けて、行政、関係機関に求める事項について

行政、関係機関に求めることとして「資源・原材料・部品価格高騰への対応・支援」と「補助金・融資等の制度拡充」が多くなりました。

次いで、「企業の人材確保・育成支援」「エネルギーの安定供給」「設備投資支援」が上位となりました。

【選択肢】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ①資源・原材料・部品価格高騰への対応・支援 | ⑫観光・エンターテイメント事業等に対する需要喚起 |
| ②為替相場の安定化 | ⑬販路拡大支援 |
| ③補助金・融資等の制度拡充 | ⑭海外との往来活性化 |
| ④企業の人材確保・育成支援 | ⑮運輸事業等に関する需要喚起 |
| ⑤エネルギーの安定供給 | ⑯設備投資支援 |
| ⑥危機対応力の高いサプライチェーンの構築支援 | ⑰研究開発支援 |
| ⑦企業のデジタル化促進・IT導入支援 | ⑱飲食店事業等に関する需要喚起 |
| ⑧脱炭素社会実現に向けた企業の取組支援 | ⑲ビジネスモデルの転換支援 |
| ⑨空き店舗、空き家等の活用支援 | ⑳税の納付猶予および減免措置の拡大・延長 |
| ⑩公共投資の執行 | ㉑特に求める事項はない |
| ⑪資金繰り支援 | ㉒その他 |

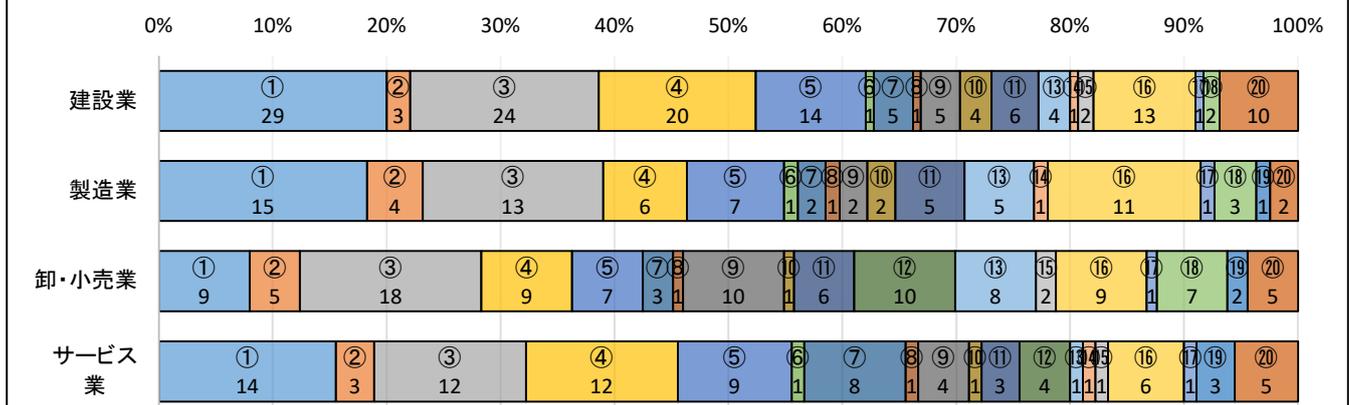
業種	建設業		製造業		卸・小売業		サービス業		合計	
全体数	145	100.0%	82	100.0%	113	100.0%	90	100.0%	430	100.0%
①	29	20.0%	15	18.3%	9	8.0%	14	15.6%	67	15.6%
②	3	2.1%	4	4.9%	5	4.4%	3	3.3%	15	3.5%
③	24	16.6%	13	15.9%	18	15.9%	12	13.3%	67	15.6%
④	20	13.8%	6	7.3%	9	8.0%	12	13.3%	47	10.9%
⑤	14	9.7%	7	8.5%	7	6.2%	9	10.0%	37	8.6%
⑥	1	0.7%	1	1.2%	0	0.0%	1	1.1%	3	0.7%
⑦	5	3.4%	2	2.4%	3	2.7%	8	8.9%	18	4.2%
⑧	1	0.7%	1	1.2%	1	0.9%	1	1.1%	4	0.9%
⑨	5	3.4%	2	2.4%	10	8.8%	4	4.4%	21	4.9%
⑩	4	2.8%	2	2.4%	1	0.9%	1	1.1%	8	1.9%
⑪	6	4.1%	5	6.1%	6	5.3%	3	3.3%	20	4.7%
⑫	0	0.0%	0	0.0%	10	8.8%	4	4.4%	14	3.3%
⑬	4	2.8%	5	6.1%	8	7.1%	1	1.1%	18	4.2%
⑭	1	0.7%	1	1.2%	0	0.0%	1	1.1%	3	0.7%
⑮	2	1.4%	0	0.0%	2	1.8%	1	1.1%	5	1.2%
⑯	13	9.0%	11	13.4%	9	8.0%	6	6.7%	39	9.1%
⑰	1	0.7%	1	1.2%	1	0.9%	1	1.1%	4	0.9%
⑱	2	1.4%	3	3.7%	7	6.2%	0	0.0%	12	2.8%
⑲	0	0.0%	1	1.2%	2	1.8%	3	3.3%	6	1.4%
⑳	10	6.9%	2	2.4%	5	4.4%	5	5.6%	22	5.1%
㉑	0	0.0%	1	1.2%	1	0.9%	1	1.1%	3	0.7%
㉒	5	3.4%	0	0.0%	5	4.4%	8	8.9%	18	4.2%

㉒その他の意見

・プレミアム商品券実施

・下請法の改正

図表5 【業種別】関係機関等に求めること



6. 行政、関係機関等に対する意見・要望事項など

業種	意見・要望など
サービス業	人口が減り続ける中、美容業だけでは、後継者がいても継続は難しいのが現実です。何かビジネスモデルにつながるような相談会があるとありがたいです。
サービス業	人材確保に尽きると思料いたします。
卸・小売業	もはや不可能ともいえる人口問題、どうしたものか。
建設業	いつもお世話になっております。困ったときには、お世話になるかもしれませんがよろしくお願いします。
建設業	消費税を何とかしてほしい。分割納付する金額が大きくなるのでなくしてほしい。
製造業	産業クラスターの作り方を教えてほしい。
サービス業	最低賃金をこれ以上上げられても対応できない。
卸・小売業	まだまだ右も左も分からないので、色々とお助けいただければ有難いです。